

作成日： 2001年7月10日

更新日： 2022年5月18日

Ver. 8.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：ニチノストーン

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名： 株式会社アグリマート

住所： 〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目12番2号 京橋第2有楽ビル6階

担当部門： 技術グループ

TEL. 03-5159-1711, FAX. 03-5159-1712

緊急連絡電話番号：(平日) 03-5159-1711 (技術グループ)

推奨用途及び使用上の制限：床下用調湿剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

GHS分類基準に該当しない

健康有害性

発がん性

区分1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器系、腎臓)

環境有害性 水生

環境有害性 短期(急性)

区分3

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ

臓器(呼吸器系)の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓)の

障害

注意書き

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じんを吸入しないこと。
- 粉じんを長期にわたり肺に吸入すると、じん肺になるおそれがあるため防じんマスクを着用すること。
- 眼を傷つけるおそれがあるため、保護メガネを着用することが望ましい。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断を受けること。

- 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

【保管】

- 乾燥した場所で水分、湿気に注意して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

重要危険有害性： 微細な粉じんを長期間にわたり吸入すると呼吸器系障害(じん肺)を生じるおそれがあります。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 単一製品

種類： 天然ゼオライト 結晶質-石英を含む(クリノプチロライト系)

化審法公示番号： -

安衛法公示番号： -

C A S 番号： 1318-02-1

4. 応急措置

眼に入った場合： 速やかに、流水で十分洗浄した後、必要に応じて医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合： 水で洗い流す。

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、水でうがいをする。多量の場合は医師の診断を受ける。

誤飲した場合： 多量の水または食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

本品は不燃性であるため、周囲の火災状況に適する消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： (1) 粉じんから身を守るために保護具を着用する。
(2) 粉じんの飛散を防ぐ。

保護具及び緊急時措置： (1) 上記の保護具とは[8. ばく露防止及び保護措置]の保護具をさす。
(2) 緊急時措置として、この物自体は安全性の高いものであるが、周囲には拡散しないように素早く回収を行う。

環境に対する注意事項： 回収物を排水溝や水路に流さない(作業場の外に流出させない)で回収する。

回収： 粉じんが立たないようにしながら箒や掃除機で回収し産業廃棄物として廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- | | |
|-----------|--|
| 技術的対策 | 粉じんを立たないように作業を行うことが望ましい。もし、粉じんが立つようならば、保護具を着用して作業を行う。 |
| 局所排気・全体排気 | 屋内作業場で使用する場合は粉じんが立たないように集じん機等を取り付ける。 |
| 注意事項 | (1) 破袋防止のため、製品を投げ積みはしない。
(2) 荷崩れしないよう製品の積み重ねは丁寧に行う。
(3) 吸湿させないように、地面に直置きしない。(本品をパレット |

保管

- 技術的対策 (1) 紙袋やフレコン等に包装されている場合は、湿気や水濡れ厳禁のため屋内にパレット積みにて保管する。
(2) サイロ等に保管する場合は、本品が濡れないように対策をとる。
- 混触危険物質 —
- 保管条件 (1) 本品が雨等に濡れないように屋内に保管する。
(2) 水気がない場所や湿度が低い場所に保管する。

容器包装材料 できるだけ透湿性のない材質

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 作業管理基準： —
日本産業衛生学会勧告値：総粉じん 2 mg/m³、吸入性粉じん 0.5 mg/m³

- 設備対策 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置をつける。

- 保護具 呼吸器の保護具： 防じんマスク
手の保護具： 保護手袋
眼の保護具： ゴーグル型保護メガネ

皮膚及び身体の保護具： 作業服、作業靴、作業帽

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 粒状
色： 白色
臭い： 無臭
融点/凝固点： データ無し。
沸点又は初留点及び沸点範囲： データ無し。
可燃性： 該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界： データ無し。
引火点： データ無し。
自然発火点： データ無し。
分解温度： データ無し。
pH： 6-9
動粘性率： データ無し。
溶解度： データ無し。
n-オクタノール/水分配係数： データ無し。
蒸気圧： データ無し。
密度及び/又は相対密度： データ無し。
相対ガス密度： データ無し。
粒子特性： データ無し。
粘度： データ無し。

10. 安定性及び反応性

- 反応性： データ無し。
化学的安定性： 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性： データ無し。
避けるべき条件： データ無し。
混触危険物： データ無し。
危険有害な分解生成物： データ無し。

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	日本産業衛生学会、ACGIH、IARCのいずれにも記載なし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし

吸引性呼吸器有害性 データなし

誤えん有害性： 製剤のデータ無し。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する。
-------	---

汚染容器・包装の廃棄 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

1 4. 輸送上の注意

国際規約	国連分類	該当なし
	国連番号	該当なし

輸送の特定の安全対策、条件	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
	陸上輸送 法規に該当しない
	海上輸送 法規に該当しない
	航空輸送 法規に該当しない

1 5. 適用法令

P R T R法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号 第 312 号 法第 22 条、粉じん障害防止規則別表第 1 第 2 条施行規則第 2 条別表粉じん作業
じん肺法	

1 6. その他の情報

引用文献	IRAC 発がん性評価モノグラフ JIS Z 7252 : 2019、GHS に基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 : 2019、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
------	--

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。